

令和5年度「教育活動についてのアンケート」結果分析

川崎市立下平間小学校
学校評価委員会

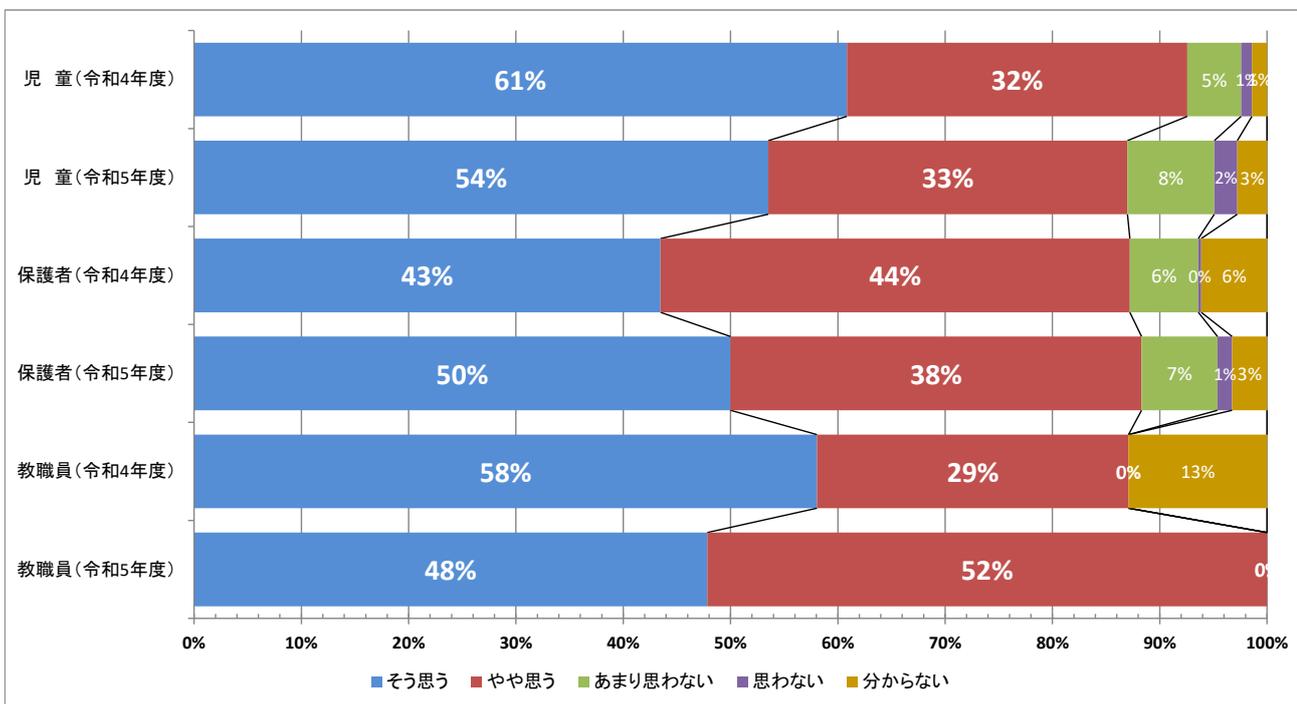
今年度も「教育活動についてのアンケート」にご協力いただきまして、ありがとうございました。学校評価委員会を中心にアンケートの結果を分析し、今後の方向性についてまとめました。今ある学校の姿をご覧いただければと思います。今後子どもたちにとって安心・安全な学校生活を過ごすことができるよう、保護者の皆様、地域の皆様のお力をお借りしながら、努力してまいります。

回答率 児童 保護者 教職員

項目1

児童 あなたは、勉強の時にクラスの友達から教えてもらったり友達に教えたりすることがあります。
保護者 お子さんは、勉強の時にクラスの友達から教えてもらったり友達に教えたりすることがありますか。
教職員 友達に伝え、友達から学び、友達とかかわる時間を意識した授業づくりを心掛けていますか。

	そう思う	やや思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童(令和4年度)	61%	32%	5%	1%	1%
児童(令和5年度)	54%	33%	8%	2%	3%
保護者(令和4年度)	43%	44%	6%	0%	6%
保護者(令和5年度)	50%	38%	7%	1%	3%
教職員(令和4年度)	58%	29%	0%	0%	13%
教職員(令和5年度)	48%	52%	0%	0%	0%



◆分析

児童の「そう思う」「やや思う」が6ポイント低くなっています。保護者は、「そう思う」「やや思う」が、1ポイント高くなっており、中でも「そう思う」が7ポイント高くなっています。教職員の「やや思う」は、昨年度に比べ23ポイント高くなっています。教職員は、日々の授業がコロナ前のように実施できるようになり、学び合いを意識した授業が展開できたこと、保護者は、授業参観や学校公開日などで普段の子ども達の学習の様子を見ることを通して児童が互いに学び合っていると感じているようです。

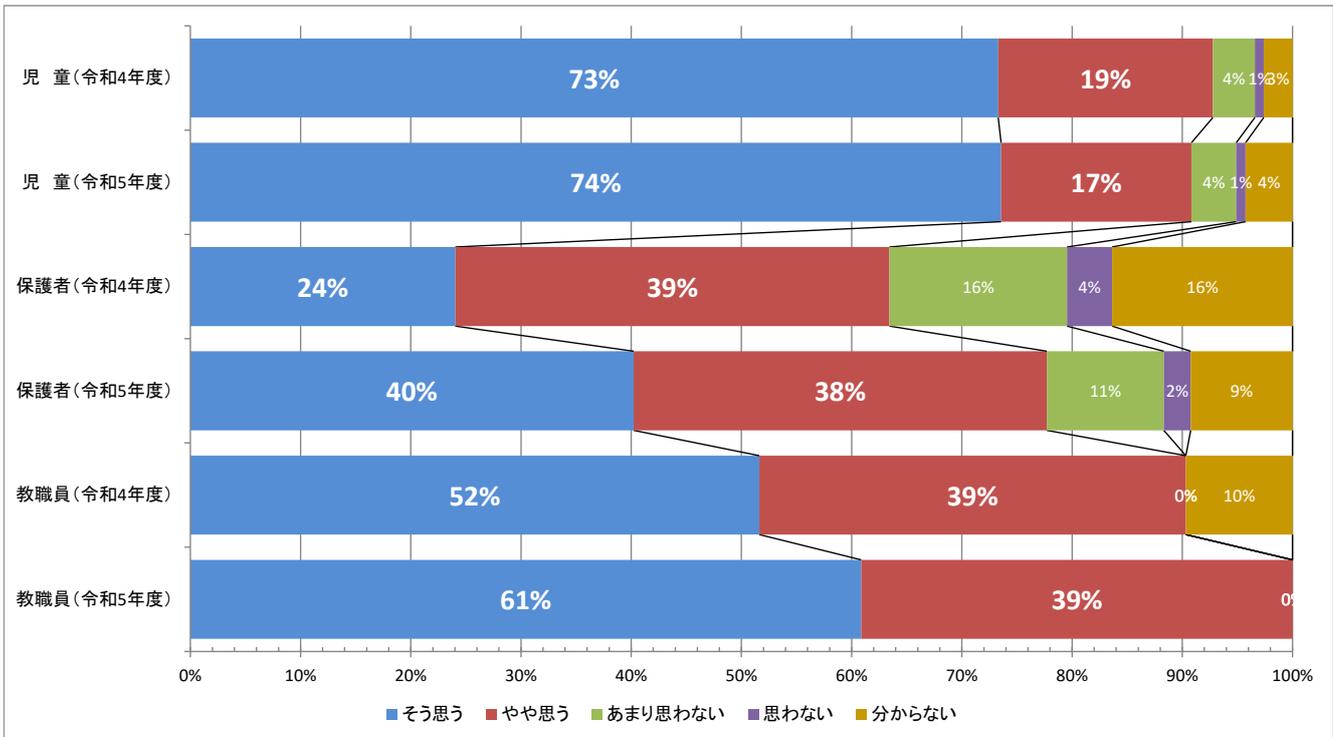
◆改善案・今後の方向性

今後も教職員で、学校目標である「学び合い」を意識した友達から学び、友達とかかわる授業づくりに努めていきます。また、GIGA端末を活用しながら学び合う姿勢を高めていきます。保護者の方には、今後も子ども達の学びの様子を授業参観、個人面談等で更にお伝えしていけるように心がけていきます。

項目2

児童 1人1台のGIGA端末は、自分の考えを表現する事や友達のことを知る事に役立つと思いますか。
 保護者 1人1台のGIGA端末は、お子さんが自分の考えを表現する事や友達のことを知る事に役立っていると思いますか。
 教職員 子ども達一人一台のGIGA端末は、子ども達が自分の考えを表現する事や友達のことを知る事に役立っていると思いますか。

	そう思う	やや思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童(令和4年度)	73%	19%	4%	1%	3%
児童(令和5年度)	74%	17%	4%	1%	4%
保護者(令和4年度)	24%	39%	16%	4%	16%
保護者(令和5年度)	40%	38%	11%	2%	9%
教職員(令和4年度)	52%	39%	0%	0%	10%
教職員(令和5年度)	61%	39%	0%	0%	0%



◆分析

児童の「そう思う」「やや思う」の合計が1ポイント低くなっていますが、GIGA端末の活用内容について児童が肯定的に受け止めている結果となりました。保護者の方は、「そう思う」「やや思う」の合計が15ポイントも上がり、児童が授業で端末を活用しながら学んでいると評価していただきました。教職員も「そう思う」が9ポイント上がり、学習の中で学びにつながるような端末の使い方を意識しています。

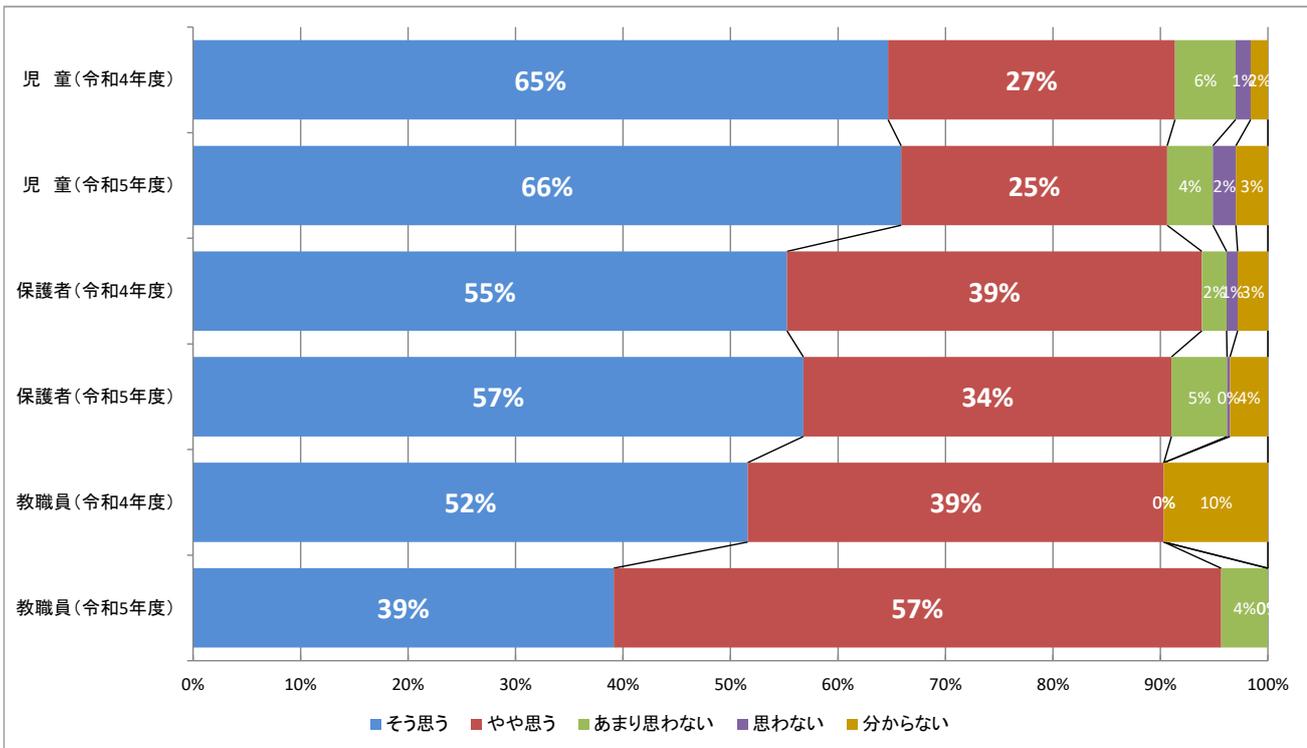
◆改善案・今後の方向性

情報モラルを徹底しながら、今後も長期休業中など学びの継続として家庭へのGIGA端末の持ち帰り等を含めより柔軟に活用していけるように努めていきたいと思っております。また、教職員も子ども達の実態に合わせ、学習内容のねらいを明確にして端末を活用していけるようにしていきます。

項目3

児童 あなたは、学校に自分の居場所があると感じていますか。
 保護者 お子さんは、学校に自分の居場所があると感じていますか。
 教職員 ありのままの自分が出せ、学校に居場所ができるような環境づくりに努めていますか。

	そう思う	やや思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童(令和4年度)	65%	27%	6%	1%	2%
児童(令和5年度)	66%	25%	4%	2%	3%
保護者(令和4年度)	55%	39%	2%	1%	3%
保護者(令和5年度)	57%	34%	5%	0%	4%
教職員(令和4年度)	52%	39%	0%	0%	10%
教職員(令和5年度)	39%	57%	4%	0%	0%



◆分析

児童、保護者、教職員ともに「そう思う」「やや思う」は、90%を超える高い数値がでました。昨年と同様の結果となり、子ども一人一人にとっての居場所が確保されていることを子ども・保護者が実感し、教職員も子ども一人一人が自分の思いを發揮できるように日々努力していることが伺えます。

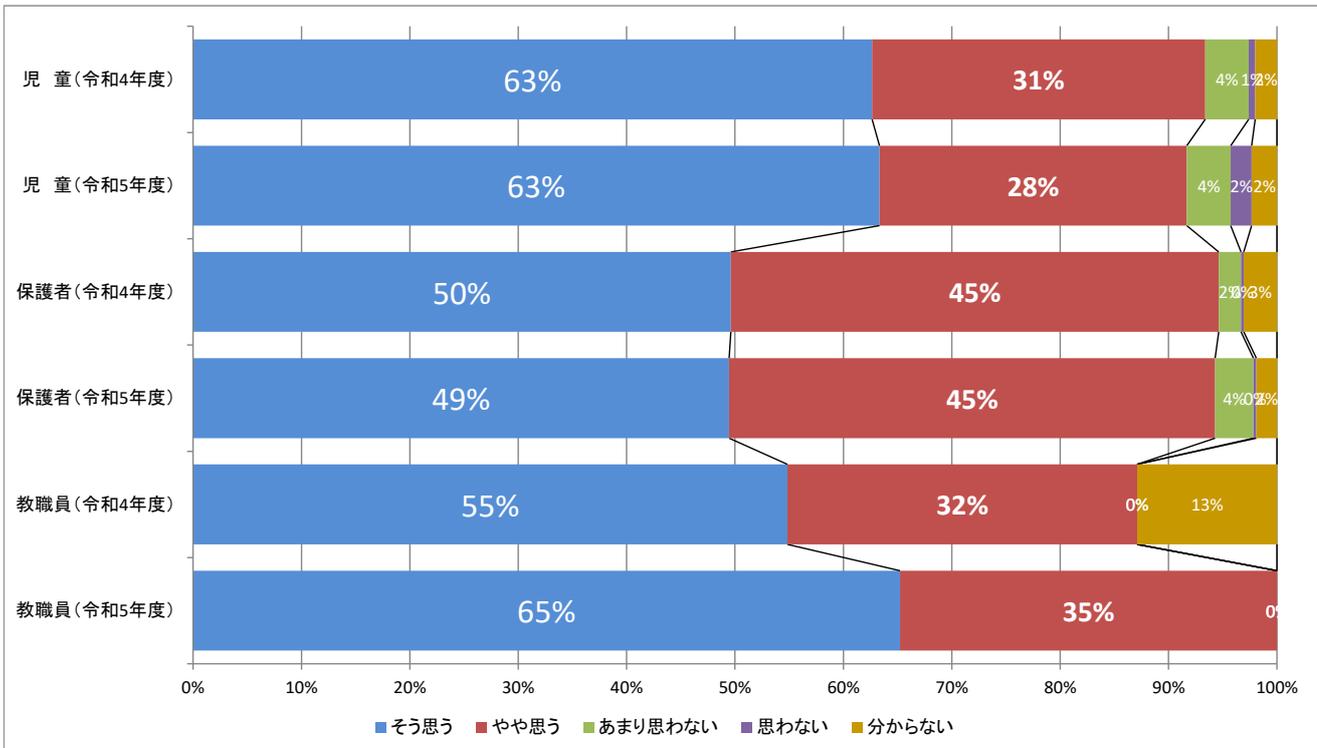
◆改善案・今後の方向性

学校に自分の居場所があることが子ども達の健やかな成長の基盤であるということを常に意識していきます。今後も、一人一人が思いを發揮できるように、互いの個性を認め合えるような信頼関係を子ども達の中に育てていきます。また、子ども達が自主的に活動できる場の設定や小さな成功体験を積み重ねることができるよう工夫していきます。

項目4

児童 あなたは、どの友達にもなかよくし、困っているときには助けたり、やさしい言葉をかけたりしていますか。
 保護者 お子さんは、友達と助け合い、相手を受け入れようとする態度が育ってきていると思いますか。
 教職員 友達と助け合い、相手を受け入れられるように指導していますか。

	そう思う	やや思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童(令和4年度)	63%	31%	4%	1%	2%
児童(令和5年度)	63%	28%	4%	2%	2%
保護者(令和4年度)	50%	45%	2%	0%	3%
保護者(令和5年度)	49%	45%	4%	0%	2%
教職員(令和4年度)	55%	32%	0%	0%	13%
教職員(令和5年度)	65%	35%	0%	0%	0%



◆分析

児童、保護者ともに「そう思う」「やや思う」の合計が昨年と同等の結果となりました。子ども達は「みんなでよくなる」という目標を意識し、お互いに助け合おうとする気持ちが昨年同様、育ってきていると思います。教職員は「そう思う」の結果が昨年に比べ、10ポイント上がっています。学校教育目標に向かって教職員も皆で努力をしています。

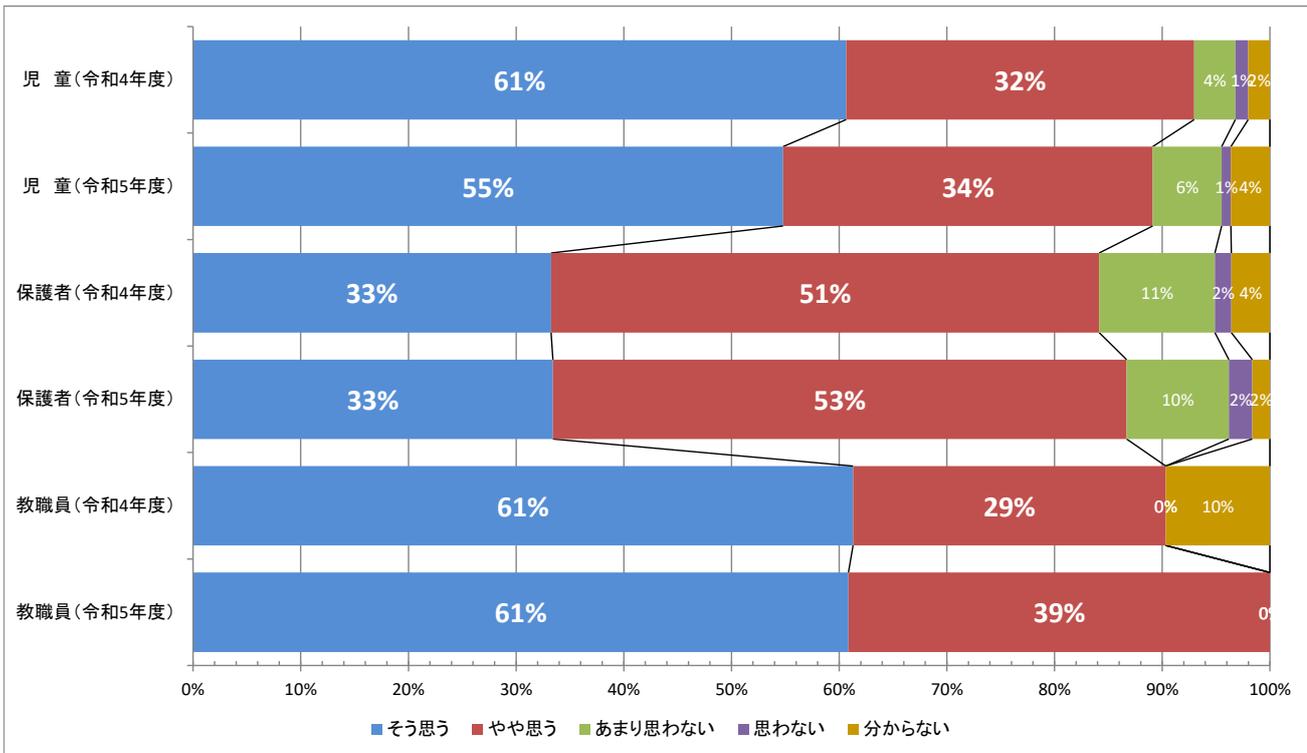
◆改善案・今後の方向性

今後も、仲のよい友達だけではなく、クラスの仲間や異学年の仲間とも助け合いお互いを受け入れていく態度を育てていくことを大切にしていきます。一人一人の個性を大切にしながら学校教育目標の「学び合い 高め合い みんなでよくなる下平間」に向かって教職員が一丸となって取り組んでいきたいと思っています。

項目5

児童 あなたは、自分でめあてを決め、最後までやろうとしていますか。
 保護者 お子さんは、自分で目標を決め、最後までやろうとする姿勢が見られますか。
 教職員 子どもが自主的に活動できる場の設定や、小さな成功体験を積み重ねることができるような工夫をしていますか。

	そう思う	やや思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童(令和4年度)	61%	32%	4%	1%	2%
児童(令和5年度)	55%	34%	6%	1%	4%
保護者(令和4年度)	33%	51%	11%	2%	4%
保護者(令和5年度)	33%	53%	10%	2%	2%
教職員(令和4年度)	61%	29%	0%	0%	10%
教職員(令和5年度)	61%	39%	0%	0%	0%



◆分析

児童の「そう思う」「やや思う」は、4ポイント下がりました。保護者は、昨年度と同等の結果となりました。「そう思う」の結果を児童と保護者と比べると、保護者の方の視点の方が厳しいものとなっています。保護者の方は、学校生活だけでなく習い事や家庭での様子などより広い視野から子ども達を見つめている状況が伺えました。

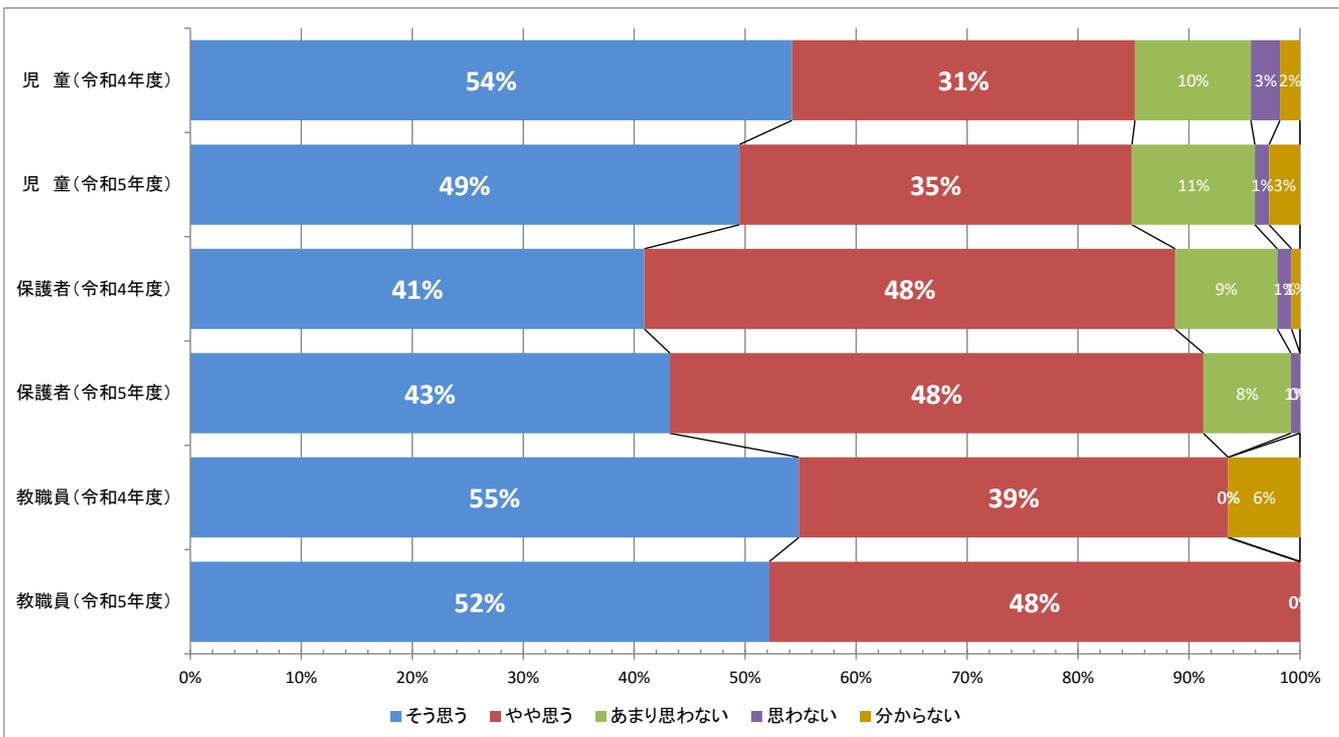
◆改善案・今後の方向性

教職員は、今後も子ども達に寄り添って自己肯定感を高めていけるよう支援していきます。また、共生 * 共育プログラムの活動を通してどの子も学校生活や今後の生き方が充実するために、重点目標である「自分で決める」ことができるよう支援していきます。

項目6

児童 あなたは、健康な体作り(早寝・早起き・食事・運動)を心がけて安全に生活していますか。
 保護者 おさんは、健康な体づくり(十分な睡眠・食事・運動)を心がけて安全に生活していますか。
 教職員 子ども達の感染予防に努め、健康な心と体づくりを心がけていましたか。

	そう思う	やや思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童(令和4年度)	54%	31%	10%	3%	2%
児童(令和5年度)	49%	35%	11%	1%	3%
保護者(令和4年度)	41%	48%	9%	1%	1%
保護者(令和5年度)	43%	48%	8%	1%	0%
教職員(令和4年度)	55%	39%	0%	0%	6%
教職員(令和5年度)	52%	48%	0%	0%	0%



◆分析

児童の「そう思う」「やや思う」が1ポイント低くなっていますが健康な体づくりを意識しながら学校生活を送っている様子が見えてきます。保護者、教職員ともに90パーセントを超える高い数値が出ました。

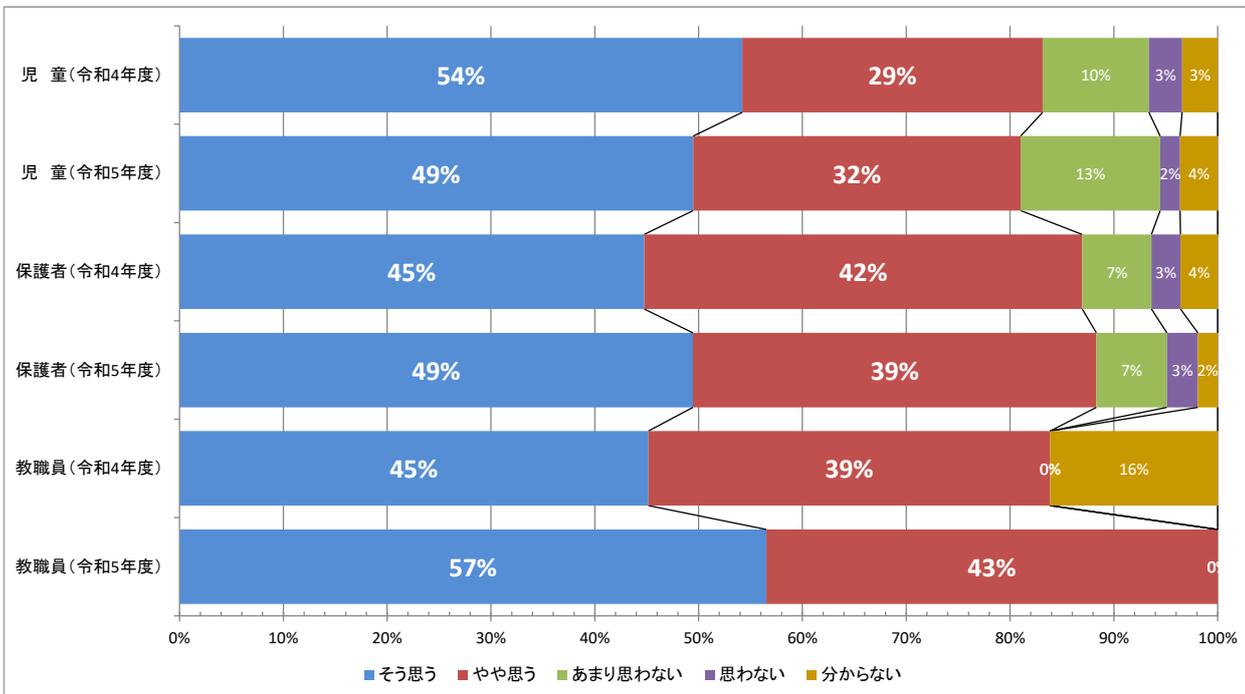
◆改善案・今後の方向性

早寝・早起き・食事・運動のバランスを今後も意識して、健康な体づくりへを心がけて安全に生活することを更に意識していきたいと思えます。子ども・保護者・教職員が一丸となって、毎日を元気に過ごせるように感染予防にも努めていきます。放課後の校庭解放においても運動する場として活用できるようルールを決めていく予定です。

項目7

児童 気になることや心配なことがある時、担任の先生やほかの先生に相談していますか。
 保護者 気になることや心配なことがある時、担任や他の学校職員で相談できる人はいますか。
 教職員 子どもに関することや、学級・学年等に関する情報を保護者に伝えていますか。

	そう思う	やや思う	あまり思わない	思わない	分からない
児童(令和4年度)	54%	29%	10%	3%	3%
児童(令和5年度)	49%	32%	13%	2%	4%
保護者(令和4年度)	45%	42%	7%	3%	4%
保護者(令和5年度)	49%	39%	7%	3%	2%
教職員(令和4年度)	45%	39%	0%	0%	16%
教職員(令和5年度)	57%	43%	0%	0%	0%



◆分析

児童は「そう思う」「やや思う」は、2ポイント下がりました。保護者は、「そう思う」が4ポイント上がりました。学校生活をめぐる子どもの相談について話がしやすい環境ができていると思われます。教職員は、「そう思う」は、12ポイント上がりました。学校だより、学年だより、ホームページの公開等により学校の様子を発信しています。

◆改善案・今後の方向性

引き続き学校生活アンケート実施や日々の様子を見取りながら担任、支援教育コーディネーターを中心とした教職員全体で『子どものことで、どんなことでも気軽に話ができる』相談体制のさらなる確立に努めていきます。今後も些細な事でも学校に相談していただき、保護者の思いを受け止め、子どもの思いに寄り添える下平間小学校をつくっていきます。また、学校だけで完結するのではなく、必要に応じ、他機関の紹介も積極的に行っていきます。